

## 平成28年度 第9回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成29年1月17日（火） 10時30分～11時48分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，滝澤理事，門出理事，後藤理事，和田理事，佐々木監事，田中教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，中村経済学部長，原医学部長，石橋工学系研究科長，渡邊農学部長，山下附属病院長，皆本全学教育機構副機構長，米山附属図書館長，郭シンクロトン光応用研究センター長

欠席者 なし

陪席者 北村監事，兒玉学長補佐，田中学長補佐，寺本学長補佐，渡学長補佐，岩本学長補佐，倉岡学長補佐，只木学長補佐，宮脇学長補佐，吉永学長補佐，西郡IR室長，永田海洋エネルギー研究センター長，荒木低平地沿岸海域研究センター長，宮武地域学歴史研究センター長

○ 学長から，平成28年度第7回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

### 【 講演 】

○ 「佐賀大学における障害学生支援」について

学生支援室中島講師から，佐賀大学における障害学生支援の現状について講演があった。

学長から，学生支援室を中心に障害学生，特に発達障害の学生の支援活動を行っており，2016年の支援学生数は77名と前年度より12名増加している。一方で，相談窓口に来ない障害学生も多い現状があり，できるだけ早い段階で支援活動を行うことで社会復帰が容易になる。そのためにもこのような窓口があることを周知するとともに，学生にサポーターになってもらうことも進めていきたい旨の発言があった。

委員から，配慮依頼文書発行のプロセスにおいて，障害学生本人が配慮依頼を申し出ることとなっているが，一般的に障害学生は本人から積極的に知らせること等を拒む傾向にあるため，ご両親及び先生も含めて事前に準備することが必要ではないか，また，教員側は，他の学生と違った対応をすることとなり，他の学生からすると不公平感を感じるのではないかと懸念され，個人情報保護の観点から対応に苦慮することがある旨の発言があり，中島講師から，基本的に大学生ということもあり本人からの申し出としている。また，周りにどのように説明するかについても事前に障害学生と相談しながら考えていくこととしている旨の説明があった。

学長から、学生が3回以上連続して欠席すると学生支援室から教員に連絡し対応をしているとのことであるが、必ずしも欠席をする学生だけが問題を抱えている訳ではないので、出席をしていても問題を抱えている学生をできるだけ早く見つけて、支援をしていくということがこの活動の趣旨である旨の発言があった。

## 【 報告・連絡事項 】

### (1) 平成29年度科研費の申請状況について

門出理事から、本件について、科研費の採択率20%以上、申請率90%以上という第3期中期目標達成に向けた取組状況の説明があったうえで、科研費の申請状況について報告があった。

学長から、努力の成果が出ていない現状がある。また、Gグループの中で外部資金の獲得は最下位なのに人件費は高いというアンバランスな状態があることから、学部による温度差を無くし、教員全員で外部資金獲得に向けて一丸となって努力してほしい旨の発言があった。

### (2) 教員のポイント制導入における部局ポイント数について

後藤理事から、本件について、各部局のポイントは、基本的に4月1日付けで教授10点、准教授8点、講師7点、助教及び助手6点として計算し、10月1日時点で再計算して、継時的にその変動を見ていくこととしている。また、ポイント制の導入は、各部局の人件費の管理及び研究者(教員)の若返りを目指すことが大きな目的である旨の説明があった。なお、後任の補充及び昇任等については、人事計画を学長及び理事に提示し、了解を得る従来どおりの方針で変わりはない旨の説明があった。

学長から、人件費との乖離を防ぐため、4月及び10月にポイント数を部局に提示することについての補足があった。

### (3) その他

特になし。

## 【 各学部等からの報告・連絡事項 】

### (1) 活動現況等について月例報告

各学部等から報告があった。

### (2) その他

特になし。

## 【 その他 】

特になし。

以 上